



問

区画整理地内の雑草処理は誰が？
費用は村負担で！
大変難しい

新和とうかい 大内 則夫 議員

議員 この事業により固定資産税が高くなり、土地利用も制限され、事業最終時期も不透明なか地権者の負担は大きくなっている。その上、雑草処理は権利者とはいかがなものか。村が責任を持つべきである。



生い茂る雑草

問 残業手当と立派な印刷物のその後の取り組みは

答 残業時間の縮減に努め、印刷製本費の削減に取り組みたい

議員 平成24年6月議会で、残業時間があまりにも多すぎるために改善を求めたが、その後の実態はどうか。また、昨年の12月議会で立派な印刷物の必要性について指摘したが、その後の対応はどうか。

総務部長 24年度の残業時間は前年度比較で27%縮減し、25年度は今年1月時点で5%縮減している。引き続き、適切な労働時間の管理に努める。

また、印刷物については、ホームページや広報紙を活用し、不要な印刷は控えることとした。



立派な印刷物

問 部原の企業誘致の取り組み方は？

答 平成29年度には企業進出を予定している

議員 村長自ら、先頭に立って積極

的に取り組む必要があるのではない

総合政策部長 早い時期からのアナウンスが必要と認識している。様々な機会を捉えて広報等に努力したい。外部からの企業進出だけでなく、地元企業育成の視点からの対応も同時に進めたい。

問 デマンドを補完する新公共交通

答 通が必要
循環バス、村内事業所と共同運行を検討

議員 会派要望でも指摘してあるが、どのような公共交通を考えているのか。

総合政策部長 26年度は大学などの協力を得て、具体的なニーズを把握するためのアンケートを実施する。この調査を基に、循環バスの試行運転を1ヵ月程度2コースで実施する予定である。また、村内の事業者が運行している「通勤バス」の共同運行・運用の可能性についても検討したい。